

「自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」

好きです!山中

学校便り第12号 平成30年1月31日

元気の源、好きです学校給食!

山鹿中学校の自慢の一つに美味しい給食があります。3時間目にもなると食欲をそそる美味しそうなおいが給食室から届きます。栄養教諭の高上先生の栄養バランスを考えた豊富なメニューのもと、8名の給食調理員の方々に、毎日愛情込めて750食を超える給食を作っていただいています。子どもたちの残滓がほとんどないことも美味しさを物語っています。先日も3年生に尋ねると、笑顔いっぱい美味しくさを表現してくれました。

1月24日から30日は全国学校給食週間でした。学校給食の歴史や意義を子どもたちに伝えるとともに、今回は、まもなくピョンチャンオリンピックが開催されることを記念し、「冬季オリンピック『味の旅』」の献立を楽しみました。例えば、26日の日本長野オリンピックでは、「深川めし、ちゃんこ汁」。ロシアのソチでは「ビーフストロガノフ」、今日31日は次期開催の北京で「中華おこわ、イカのオイスター炒め、春雨スープ」の中華料理等です。脱脂粉乳から瓶牛乳を味わった私たち世代からすると多様なメニューに驚くばかりですが、学校給食はいつの時代も子どもたちにとって大切な元気の源の一つであり、協力して行う当番活動や食事マナーを通じた社会性を育てる場には変わりありません。これからも、お世話になる調理員の方々、そして食への感謝を忘れず、自慢の給食で健やかに成長してくれること願っています。



